

平成30年度第1回^{もり}森林の未来を考える懇談会資料

平成29年度森林環境基金事業の 実績について

- 平成29年度森林環境基金事業の実績について
- 平成29年度森林環境基金事業の枠組(実績)
- 平成29年度森林環境基金充当事業 実績一覧表

平成30年7月30日

福島県農林水産部森林計画課

平成29年度森林環境基金事業の実績について

1 森林環境の適正な保全

(1) 森林整備事業

【森林整備課】

事業概要

水源区域及び水源かん養又は山地災害防止機能の発揮を重視する森林において、手入れが行われず荒廃が懸念される森林に対し、補助事業により間伐等の森林整備を実施する。

○平成29年度実績

- ・森林整備事業 間伐1,158ha (H28実績：1,038ha)
林業事業体による水源区域等で荒廃が懸念される森林の整備を支援した。
- ・森林資源造成支援事業 再造林48ha (H28実績：40ha)
水源区域等の広葉樹林化などの多様な森林資源へ誘導するための再造林を支援した。



森林整備(間伐)実施後状況



苗木の植栽

○累計実績(平成18～29年度)

- ・森林整備事業 18,107ha (H18～H27 15,911ha H28～H29 2,196ha)
- ・森林整備促進事業 8,350ha (H18～H27)
- ・森林資源造成支援事業 88ha (H28～H29)

事業成果

平成29年度まで12年間に荒廃が懸念される森林18,107ha(猪苗代湖の面積約1.8個分)を実施したことにより、水源かん養や山地災害防止など森林の有する公益的機能が増進され、将来にわたり水源区域森林の機能維持に寄与することが期待される。

また、水源区域や水源かん養機能又は山地災害防止機能が重視される森林88haを実施し、森林の若返りや年齢構成の平準化を進めることにより、広葉樹林化など多様な森林資源への誘導が期待できる。

(2) 里山林整備事業

【森林保全課】

事業概要

里山林において地域住民が行う、野生動物の生息域との間の緩衝帯の整備や森林づくりへの意識の醸成、森林と人との絆の回復を図るための身近な森林の整備を支援する。

○平成29年度実績

環境整備(緩衝帯整備、景観整備) 30件 51ha(15市町村)
(H28実績：34件 55ha(13市町村))



緩衝帯整備の様子



意識醸成活動

○累計実績（平成28～29年度）

・環境整備（緩衝帯整備、景観整備） 累計64件 105ha（累計28市町村）

事業成果

30団体（15市町村）が行った緩衝帯整備、景観整備51haに対して支援を行い、里山林の獣害対策や地域住民の森林づくりへの意識醸成につながった。

（3）森林整備地域活動支援交付金事業

【森林計画課】

事業概要

森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から、集約化施策を促進するために必要な森林経営計画の作成支援を行う。

○平成29年度実績

森林組合等が森林経営計画を作成するために必要な森林情報の収集や森林経営計画への参画における森林所有者の同意取得等の活動に対し支援を行った。

森林経営計画作成促進支援：560ha（H28実績：770ha）

○累計実績（平成23～29年度）

森林経営計画作成促進支援：36,678ha

事業成果

平成23～29年度までの7年間で森林経営計画の作成や施策集約化の促進を支援したことにより、森林経営計画が平成29年度末時点で334件、約104,000ha（速報値）認定され、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施策の推進が図られることにより、水源かん養や土砂災害防止など森林の有する多面的機能が発揮される。

（4）森林環境適正管理事業

【森林計画課】

事業概要

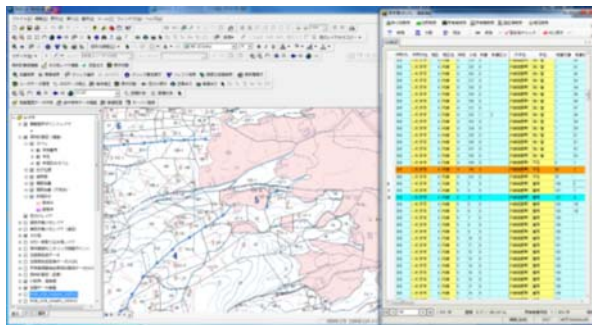
森林環境を適正に管理し業務の効率化を図るために森林GISの運用を行うとともに、地図上で森林情報を確認できるウェブサイト「ふくしま森まっぷ」を活用し、県民へ情報を発信する。

○平成29年度実績

・森林情報（GIS）活用推進事業

森林GISを構成する①森林資源情報システム、②施策履歴管理システム、③森林情報発信システムの保守・運用業務を委託事業により実施した。

ふくしま森まっぷアクセス件数 610,886件（H28実績：470,869件）



「森林GIS」による森林資源情報の表示



「ふくしま森まっぷ」の表示

○累計実績（平成18～29年度）

森林GIS開発 平成18～20年度
 ふくしま森まっぷ（平成21年度公開）
 アクセス件数 累計約304万件

事業成果

森林GISを活用することで広大な森林を適正に管理するとともに、「ふくしま森まっぷ」により、森林と触れあうことができる施設の紹介など、各種森林に関する情報を県民を始めとする多くの人々に向けて発信することができた。

2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

(5) 間伐材搬出支援事業

【森林整備課・林業振興課】

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、これまで搬出・利用が十分に進んでいない間伐材等未利用材の搬出を支援する。

○平成29年度実績

- ・ 間伐材運搬経費支援事業 500円/m³ 12,800m³ (H28実績：12,800m³) 【林業振興課】
- ・ 林内作業路整備支援事業 500円/m 52,610m (H28実績：50,800m) 【森林整備課】

間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備及び原木市場等への間伐材の運搬を支援した。



高性能林業機械による間伐



作業路を利用した間伐材の搬出

○累計実績（平成18～29年度）

山土場から原木市場までの運搬支援 H18～H29 242,571m³
 間伐材搬出に必要な林内作業路整備 H18～H29 584,038m

事業成果

作業路整備及び運搬経費支援による間伐材の搬出促進により、間伐材の利用拡大が図られた。

(6) 森林整備促進路網整備事業

【森林整備課】

事業概要

路網の未整備により間伐等が遅れている森林に対し、作業道を開設することで森林整備と搬出の促進を図り、森林環境の保全及び森林資源の活用により低炭素社会づくりを目指す。

○平成29年度実績

- ・森林整備促進路網整備事業 4,200円/m 5,020m (H28実績：4,300m)

水源区域及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する森林に対して、継続的な森林整備の促進を図るため、トラックが通行可能な耐久性のある作業道を開設する経費を助成した。



作業道の開設状況



積込運搬状況

○累計実績（平成23～29年度）

耐久性のある作業道の開設 H23～H29 54,112m

事業成果

平成23年から平成29年までの7年間で54,112m（猪苗代湖約一周分）の作業道が開設され、森林整備と間伐材の搬出が促進されました。このことにより、水源涵養機能・山地災害防止機能の回復と資源の有効活用が期待される。

(7) ふくしまの低炭素社会づくり推進事業

【林業振興課・建築指導課】

事業概要

地球温暖化防止に資するため、県民や関係者が一体となって行うCO2排出削減に貢献する取組を推進するとともに、固定された炭素を貯蔵している木材を住宅等に利用することや、バイオマスエネルギー利用の普及のための支援を行い、低炭素社会の実現に資する。

○平成29年度実績

- ・木めぐり探検事業【林業振興課】

消費者が木にふれあい「安全・安心・健康な家づくり」を実現できるよう、生産者の顔の見える家づくりの見学体験ツアーを実施した。

いわきコース 34名参加、県北コース 28名参加、

奥会津コース 32名参加、県中コース 23名参加

計4回実施 117名参加 (H28実績：計4回実施、109名参加)

- ・緑の住宅普及支援事業【林業振興課】

県産材の良さや利用の意義をPRするため、各種イベントにおける県産材住宅モデル等の展示や家づくりワークショップ等の普及啓発活動を実施した。

①県産材住宅モデル等の展示（イベント出展3回）

会津ブランドものづくりフェアほか

来場者8,200名

②家づくりワークショップ等（4回開催）

参加者111名

③家づくり講演会（3回開催）

参加者73名

- ・木質バイオマスでCO2ダイエット事業【林業振興課】

ア間伐材等二酸化炭素削減支援

県内木材バイオマスエネルギー利用施設への燃料用間伐材の搬出・運搬支援を実施した。 1,000円/m³ 40,000m³ (H28実績：1,000円/m³ 40,000m³)

イ木質バイオマス利用ストーブ普及支援

木質バイオマスエネルギー利用機器の民間における導入支援を行った。

ペレットストーブ30台、薪ストーブ68台、補助額：5万円/台

(H28実績：ペレットストーブ26台、薪ストーブ35台、補助額：5万円/台)

・ふくしま木の家・担い手応援事業【建築指導課】

県産木材を活かした家づくりの担い手である県内の大工・工務店等を対象とした技術セミナー等を実施した。

木造建築普及促進セミナー 6回開催 参加者274名

福島県木造住宅耐震診断技術講習会 1回開催 参加者52名

福島県地域住宅生産者グループ研修会 1回開催 参加者59名

・ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業【建築指導課】

構造材及び間柱に所定の県産木材を使用するなどの要件を満たす住宅の建築主に対し、1戸あたり20万円相当（被災者等は30万円相当）の補助を行い、県産木材の利用促進を図った。

補助実績：178棟（うち被災者等への補助は40棟、県外移住者3棟）

(H28：177棟（うち被災者等への補助は46棟）)



木めぐり探検事業
(モデルハウス見学)



イベント出展



木質バイオマス利用ストーブ普及支援



大工・工務店を対象としたセミナー

○累計実績

・木めぐり探検事業（平成28～29年度）

見学体験ツアー H28～H29 8回 参加者 226名

・緑の住宅普及支援事業（平成22～29年度）

ふくしま緑の家づくりセミナー H22 県内7方部で実施 参加者 300名

県産材住宅モデル等の展示 H22～H29 26回

家づくりワークショップ等の開催 H22～H29 69回 参加者3,758名

ふくしまの住まい作品展 H28 県内7方部で実施 参加者 700名

・木質バイオマスでCO₂ダイエット事業（平成23～29年度）

県内木材バイオマスエネルギー利用施設への
燃料用間伐材の搬出・運搬支援 H24～H29 224,800m³

木質バイオマス利用ストーブ H23～H29 406台
(内訳 ペレットストーブ133台、薪ストーブ269台、兼用4台)

・ふくしま木の家・担い手応援事業（平成26～29年度）

担い手ネットワーク登録者数 H26～H28 121名

技術力向上に係るセミナー、研修等 H26～H29 20回 参加者800名

・ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業（平成25～29年度）

補助実績 H25～H29 739棟（うち被災者等への補助198棟、県外移住者3棟）

事業成果

ツアーやイベントによる県産材を活用した家づくりのPR活動により、県産材の良さや利用する意義についての理解が広がるとともに、事業体や個人等への補助により木質バイオマス利用が促進された。

県内の大工・工務店や設計者を対象としたセミナーや技術講習会等の開催により、木造建築に係る技術の継承と研鑽が図られている。

また、県内工務店と県産木材を活用した住宅に対する補助棟数は年々増加しており、木造住宅の快適さや、木材を利用する意義について、県民の意識の醸成が図られている。

(8)もっともっと木づかい推進事業

【林業振興課】

事業概要

公共施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等によって、県民の木材利用に対する意識を醸成し、一般住宅等民間建築物における県産材の利用拡大を図る。

○平成29年度実績

・木景観形成促進事業

県内民間団体等を事業主体とし、提案公募型での県産材を活用した施設の整備に対し支援を行った。(3か所)(H28実績:3か所)

- ①福島空港ビル(玉川村) テーブル5基、ベンチ14基
- ②伊達市保原町高子地区(伊達市) テーブルとベンチのセット4基
- ③道の駅「あつかしの郷」(国見町) 木柵14基

・新「ほっと」スペース創出事業

高等学校、職業能力開発校等とデザイン・製品製作について連携しながら、公共建築物等にPR性の高い県産材製品を設置・展示した。(8か所)(H28実績:8か所)

- ①大原記念財団エンゼル保育園(福島市) テーブル1セット、ベンチ3基
- ②県立郡山北工業高等学校(郡山市) 東屋1基
- ③JR磐城塙駅(塙町) ベンチ4基
- ④磐越自動車道磐梯山SA(磐梯町) カタログラック2基、カタログイーゼル2基
- ⑤下郷町商工会(下郷町) テーブル1基、ベンチ2基
- ⑥JR常磐線富岡駅(富岡町) パンフレットラック2基、ベンチ2基
- ⑦県立いわき支援学校(いわき市) ベンチ12基
- ⑧日本橋ふくしま館-MIDETTE(ミデッテ)(東京都) テーブル1基、イス2基、パンフレットラック2基

・木とのふれあい創出事業

木を学び親しむ機会を創出するため木工工作用資材を配布するとともに、各方部での出前講座、林業祭での木工工作教室を実施した。

木工工作用資材配布 67校(約3400人)、出前講座9か所 13回(約800人)
(H28実績:78校 出前講座21箇所 32回)

・木材製品需要拡大技術導入事業

新たな木材需要の創出に繋がる新用途・新技術の開発や普及啓発活動を支援した。

県産木材を活用したシンボルアーチの作成・設置ほか 2件(H28実績:2件)



JR常磐線富岡駅ベンチ(富岡町)



小学校で開催した出前講座

○累計実績（平成23～29年度）

- ・木景観形成促進事業（平成24～29年度）
民間団体等による県産材を活用した施設整備 24か所
- ・新「ほっと」スペース創出事業（平成23～29年度）
公共建築物等への県産材製品の設置・展示 59か所
- ・木とのふれあい創出事業（平成24～29年度）
木工工作用資材提供 677校、出前講座の実施 63か所
- ・GLT等新技術導入実践事業（平成27年度）
実証事業等 2件
- ・木材製品需要拡大技術導入事業（平成28～29年度）
新技術の開発と普及活動 4件

事業成果

公共スペースへの県産材木製品の導入や木育活動により一般県民への県産材利用の普及が図られるとともに、県内企業による木材製品開発の取組を支援することにより、福島県独自の新たな木材利用技術の普及が図られた。

(9) 地域林業技術伝承事業

【林業振興課】

事業概要

地域の特性を活かし多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援し、各地域の条件を踏まえた施業システムの構築と継承を行う。

○平成29年度実績

・地域林業技術伝承事業

各地域の特性を活かした多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援した。
支援団体 流域林業活性化センター 4団体（H28実績:4団体）

・【新】林業研究グループ交流促進事業

林業技術や特色ある取組を伝承・普及する県内の林業研究グループの活動を促進した。
支援団体 県内林業研究グループ 6団体



現地検討会



林業体験会

事業成果

地域の特性を生かした施業技術の実証試験や林業技術の伝承・普及を支援することで、地域における林業の課題解決と振興に貢献した。
また、県内の林業研究グループの活動を支援したことにより、広く県民へ林業技術等の普及が図られた。

○累計実績（平成28～29年度）

- ・地域林業技術伝承事業（平成28～29年度）
支援団体 延べ8団体
- ・【新】林業研究グループ交流促進事業（平成29年度）
支援団体 延べ6団体

3 市町村が行う森林づくりの推進

(10) 森林環境交付金事業

【森林計画課】

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する。

○平成29年度実績

・森林環境基本枠

59市町村 (H28実績：59市町村)

- ①県民参画の推進 31市町村 (H28：31市町村)
県民を対象とした森林教室、森林観察、林業体験、等
・町産業祭による「親子木工教室」の実施(新地町)など
 - ②森林の適正管理推進 5市町村 (H28実績：6市町村)
森林整備のための協定締結、現地調査・測量
・町有林における森林認証の取得(古殿町)など
 - ③森林環境学習の推進 57市町村 (H28実績：55市町村)
森林環境学習実施校 小学校349校、中学校113校、計462校 全670校の69%
(H28実績：小学校351校、中学校106校、計457校 全680校の67%)
人数 小学校33,684人 中学校13,029人 計46,713人(全140,963人の33%)
(H28実績 小学校32,788人 中学校12,404人 計45,192人 全144,643人の31%)
・フォレストパークや自然の家において、自然観察等を行い、森林の持つ役割について学習した。(福島市立三河台小学校)など
 - ④森林整備の推進 38市町村、105ha (H28実績：38市町村、103ha)
間伐、野生生物との共生林整備、等
・野生生物との棲み分けを図る緩衝帯の整備47ha 8町村(H28実績：40ha)
- ※ほか市町村による基金積立11町村 (H28実績：6町村)



県民参画の推進 (田村市)



森林環境学習の推進 (伊達市)

・地域提案重点枠

22市町村、38件 (H28実績：22市町村、41件)

- ①県産材の利活用推進 21市町村、30件 (H28実績：19市町村、34件)
小中学校・幼稚園等の木造・木質化、木製机椅子等の導入、など
・老人ホームの県産木材による建築(矢祭町)など
- ②木質バイオマスの利活用推進 2市、3件 (H28実績：3市村、3件)
ペレットストーブ等の導入 合計5台 (H28実績：合計10台)
・会津若松市立湊中学校に導入(会津若松市)など
- ③その他 4市町村、5件 (H28実績：4市町村、4件)
「ヤマザクラ1万本の里づくり事業」(南会津町)など



木製階段の設置（福島市）



木製遊具の導入（三島町）

○累計実績（平成18～29年度）

・森林環境基本枠

①県民参画の推進実施	H18～H29	48市町村
②森林の適正管理実施	H18～H29	26市町村
③森林環境学習実施	H18～H29	全59市町村 延べ4,731校
④森林整備実施	H23～H29	48市町村、間伐、危険木除去等838ha

・地域提案重点枠

①森林整備実施	H18～H29	47市町村	210件（間伐等1,087ha）
②県産材の利活用推進実施	H18～H29	51市町村	421件
③木質バイオマスの利活用推進実施	H18～H29	28市町村	77件 （ペレットストーブ251台 薪ストーブ9台）
④その他の取組実施	H18～H29	11市町村	41件 （漆の芸術祭、PTA等による里山環境再生、等）

事業成果

交付金を活用することにより、これまでに森林環境基本枠については全59市町村が県民参画や森林環境学習の推進などに取り組み、地域提案重点枠については50市町村が県産材の利活用推進や木質バイオマスの利活用推進などに取り組み、市町村との連携のもと、県民一人一人が参画する森林づくりを効果的に進めることができた。

4 県民参画の推進

もり

(11)花粉の少ない森林づくり事業

【森林整備課】

事業概要

森林環境に配慮した再生林による森林の若返りを図るため、花粉症対策品種苗木を養成するとともに、採種・採穂園の整備により造林地へ花粉症対策苗木の供給を行う。

○平成29年度実績

・花粉の少ない森林づくり推進事業

苗木養成5,220本、配布苗木150本（H28実績：苗木養成2,391本、配布苗木310本）

・次世代の森林づくり促進事業

スギ採穂園整備 0.05ha（H28実績：0.3ha）



小花粉スギ挿し木の状況



特定母樹採種園の造成

○累計実績（平成23～29年度）

ミストハウス（発根促進施設）整備 H23
少花粉スギ採種園 H26 造成0.3ha
無花粉スギ採種園 H26 造成0.1ha
特定母樹のスギ採種園 H28～H29 造成0.6ha
花粉症対策品種のさし付け H24～H29 29,911本
苗木配布 H25～H29 1,360本

事業成果

平成29年度までに、花粉症対策品種の採種園計0.6haを整備したことにより、平成34年度には約10万本分の少花粉スギ実生苗等の供給が可能となり、花粉症対策に寄与する事が期待される。

また、平成29年度までに、スギ特定母樹の採種園計0.35haを整備したことにより、平成33年度にはスギ特定母樹実生苗の供給が可能となり、再生林の低コスト化に寄与することが期待される。

(12) 林業普及推進事業

【林業振興課】

事業概要

森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図る。

○平成29年度実績

・担い手緑化推進事業

平成29年10月21日（土）～22日（日）に開催された林業祭において、森林や木材にふれあう各種イベントなどの実施により、森林・林業・木材産業の復興への取り組みの状況をお知らせし、併せて森林・林業の再生に対する県民意識の醸成を図った。

・来場者：4,000名



林業祭の開催状況



林業祭の開催状況

○累計実績（平成22～29年度）

林業祭 H22～H29 来場者累計27,200人

事業成果

森林・林業・木材産業の魅力を来場者に感じていただいたことにより、県民の森林・林業に対する意識の醸成に繋がった。

(13) 森林環境学習の森整備事業

【森林保全課】

事業概要

全ての県民が、森林環境の重要性や林業の役割についての学習や、森林とのふれあいのために、容易に利用できるフィールドの整備を行う。

○平成29年度実績

・森林学習フィールド整備事業

施設名：県民の森 森林整備（獣害被害の安全対策）主伐1.0ha、除伐0.2ha
（H28実績：県民の森 下刈り2.9haほか、舟津県有林 除伐2.92haほか）



県民の森 主伐



県民の森 除伐

○累計実績（平成23～29年度）

・ 県有林フィールド整備事業 平成23～27年度

6施設（県民の森、昭和の森、緑化センター、翁島県有林、舟津県有林、青松ヶ浜県有林）

間伐、除伐、危険木除去等 30.59ha

木製手すり設置 58.2m 案内板等設置

木製階段 75段 歩道工 282m 護岸補修 15.0m

・ 歩道バリアフリー化事業 平成23～26年度

2施設（県民の森、緑化センター）

木質系チップ舗装歩道 330m

バリアフリー歩道 L=150m、木質舗装211m²

・ 森林環境学習の森整備事業（平成28～29年度）

2施設（県民の森、舟津県有林）

下刈り、除伐 6.02ha 主伐 1.0ha

遊歩道 186m

事業成果

県民の森における森林整備を行い、県民が安全に森林とふれあい・学習するためのフィールドを整備し、利用者の安全確保を図るとともに、森林・林業への理解の促進につながった。

(14) 森林づくり総合対策事業

【森林保全課】

事業概要

県民参加による森林づくり運動を推進するため、緑化推進活動を実施している森林ボランティア団体の活動支援や森林づくり活動の情報収集・提供等を行う森林ボランティアサポートセンターの運営、ボランティアによる緑化意識醸成指導者や森林づくりの技術指導者となる人材の育成講座等の実施、更には企業やNPO等が行う森林づくり活動の支援を行う等、総合的な推進を図る。

○平成29年度実績

・ 森林ボランティア団体活動支援事業

森林整備活動や森林づくり意識醸成活動などを実施した7団体に対して支援した。

(H28実績：7団体)

・ 森林ボランティアサポートセンター事業

森林ボランティアサポートセンターを引き続き「県民の森」内に設置し、ホームページ及び広報誌（森ボラ新聞）によるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行った。

(ホームページアクセス件数(H29.4～H30.3) 143,587件)

(H28年度ホームページアクセス件数：144,509件 対前年比：99%)

・ 森林づくり指導者育成事業

アもりの案内人養成事業

森林とのふれあいを通して森林の役割や重要性を広く県民に伝えるボランティアである指導者の養成を行った。養成講座受講者18名、認定者13名。

(H28実績：養成講座受講者24名、認定者18名)

イ森林ボランティアリーダー育成事業

森林ボランティア育成講座を開催しグリーンフォレスターの認定を行った。

養成講座受講者12名、認定者5名（H28実績：養成講座受講者10名、認定者8名）

・みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業

企業・団体等が社会貢献活動で行う森林整備において、活動の支援を行うとともに企業等と森林づくりの協定を締結した。協定締結4件（H28実績：協定4件）



もりの案内人認定者



企業による森林づくり

○累計実績（平成18～29年度）

・森林ボランティア団体活動支援事業（平成18～29年度）

森林ボランティア団体支援 161団体

・森林ボランティアサポートセンター事業（平成18～29年度）

ホームページアクセス件数 738,717件

・森林づくり指導者育成事業（平成18～29年度）

もりの案内人養成者数 254人（前身事業も含めた累計は540人）

グリーンフォレスター認定者 47人（前身事業も含めた累計は118人）

・カーボンオフセット森森（もりもり）元気事業（平成22～29年度）

森林づくり活動協定締結 22件 42.29ha

事業成果

森林ボランティアサポートセンターの設置及び森林づくり指導者の育成やボランティア団体の活動への支援、企業に対して森林づくり活動の普及啓発を行ったことにより、県民の森林づくり意識の醸成が図られた。

(15) 県立学校における森林環境学習推進事業

【高校教育課】

事業概要

県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動費を支援する。

○平成29年度実績

実施校数 南会津高校ほか 計11校 人数 625名（H28実績：10校）

取組事例

木製家具等の製作を通じて実際にその森林資源を有効に活用することができる技術を学ぶことができた。（福島工業高等学校）



枝払い作業体験（田島高校）



間伐材を活用した木工製品づくり体験
（遠野高校）

○累計実績（平成18～29年度）

実施校数 H18～H29 延べ実施校数 80校

事業成果

森林関係の講師を招聘した学習、伐倒作業や枝打ち体験など森林の保全に関する学習、間伐材による木工製品作りを通じた資源の活用に関する学習、エビネラン等の山野草の移植活動を通じた環境保護の学習などの事業を実施した。11校、生徒合計625名が事業に参加した。

(16) ふくしまから はじめよう。森林とのきずな事業

【森林計画課・全国植樹祭推進室】

事業概要

震災や原子力災害発生以降の福島県の森林の現状に対する理解を深めるとともに、森林づくり活動の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信と、平成30年全国植樹祭開催を契機に更なる森林づくり活動の意識醸成を図る。

○平成29年度実績

・森林環境情報発信事業 【森林計画課】

新聞広告、ポスター及びパンフレット等により、森林環境税を活用した取組のほか、森林の整備や県産材の利活用、森林づくりの推進などについて発信した。また、森林認証制度の普及及び林業事業体の認証取得に向けた取組を支援した。

新聞広告 H30.2.4 福島民報、福島民友新聞

ポスター・パンフレット・割箸作成「森林環境税で森林を守り育てています」

ポスター 1,000枚、パンフレット 10,000部 割箸 2,000本

森林環境学習下敷き作成 10,000枚

森林認証セミナー開催1回 参加者40名

森林認証取得コンサルティング ふくしま中央森林組合

・若者の森林自己学習支援事業【森林計画課】

県内の大学等におけるサークル活動など、グループによる森林に関する自己学習を支援した。

実施団体 森林自己学習取組学生グループ 5団体

森人（もりんちゅ）（福島大学）

福島の魅力を発見、世界に発信し隊（会津大学）

とげっちょ組（福島大学）

福島学院大学アウトドアスポーツクラブ（福島学院大学）

NEWESTAR021（福島工業高等専門学校）

学生グループの支援 1団体

アカデミア・コンソーシアムふくしま

・森林づくり県民運動推進事業 【全国植樹祭推進室】

第69回全国植樹祭開催への機運醸成を図るため、前年に引き続き苗木のスクールステイ・ホームステイを実施するとともに、連携イベントや森林とのきずなづくり植樹リレーを実施した。

①苗木のスクールステイ 県内小学校131校参加

②苗木のホームステイ 個人世帯73世帯、企業団体90団体

③連携イベント 59か所

④森林とのきずなづくり植樹リレー 111か所（59市町村）実施



森林とのきずなづくり植樹リレー



大会1年前記念イベント

○累計実績（平成25～29年度）

・森林環境情報発信事業（平成25～29年度）

新聞記事掲載 5回
 県政広報テレビ放映 5回
 テレビ・ラジオCM 合計694回
 森林環境税PRパンフレット、ポスター作成
 合計 パンフレット 165,000部、ポスター 4,000枚
 森林環境税PR鉛筆・割箸作成 4,800セット
 森林環境学習下敷き作成 14,000枚

・森林づくり活動推進事業（平成25年度）

森林づくり検討委員会開催 3回 委員7名
 「森林づくり活動推進についての提言」取りまとめ（H25.12.20）

・森林づくり県民運動推進事業（平成26～29年度）

森林づくり活動ワークショップ 3か所
 シンポジウム 2か所
 全国植樹祭連携イベント 109か所
 苗木のスクールステイ 県内小学校131校
 苗木のホームステイ 個人世帯73世帯、企業団体90団体
 森林とのきずなづくり植樹リレー 195か所

事業成果

新聞広告や県民へのパンフレット等の配布により、本県の森林の概要や良さ、森林林業に関する取組など森林環境に関する情報を発信することで、ふくしまの森林に関する関心と理解の拡大により、県民参加による森林づくりをさらに加速させることができた。また、第69回全国植樹祭に向けた各種事業の実施により、県民参加の森林づくり活動を一層進めることができた。

(17) 全国植樹祭準備事業

【全国植樹祭推進室】

事業概要

平成30年全国植樹祭に向け、緑豊かな森林の再生を進めるとともに、国内外からの支援への感謝の気持ちと復興に向かって強く歩み続ける福島を広く発信するシンボル事業となるよう、開催準備を進める。

○平成29年度実績

平成30年全国植樹祭に向け、第69回全国植樹祭福島県実行委員会の開催をはじめ、大会に向けた準備を実施した。

総会 2回、幹事会 3回、式典専門委員会 2回
 実施計画策定
 大会テーマソング決定
 木製地球儀巡回展示
 大会情報誌「第69回全国植樹祭だより『キビタンの森林』」 3回発行
 大会1年前記念イベント開催 約2,000名参加
 第15回うつくしま育樹祭・大会200日前記念イベント開催 約1,100名参加
 大会200日前カウントダウンスタートセレモニー実施
 大会100日前記念イベント開催 約400名参加



全国植樹祭福島県実行委員会総会



大会200日前記念イベント
(カウントダウンスタートセレモニー)

○累計実績（平成25～29年度）

- 全国植樹祭福島県準備委員会開催 H25～H26 5回
- 「第69回全国植樹祭基本構想」取りまとめ H26
- 緑化活動に関するアンケート調査 H26
- 全国植樹祭福島県実行委員会 H27～H29 6回
- 専門委員会 H27～H29 13回
- 基本計画策定 H28
- 実施計画策定 H29
- 大会記念イベントの開催 6回（H27～H29）

事業成果

大会テーマソングを決定し、プレイベント（1年前、200日前、カウントダウンスタートセレモニー、100日前）を開催することなどにより、平成30年6月10日に開催する第69回全国植樹祭に向け、開催機運をより一層高めることができた。

(18) 森林・水循環推進事業

【土地・水調整課】

事業概要

健全な水環境を推進するため、県内流域において森林・水環境教育等を実践するための各流域の特色ある森林・水資源等を生かした相互交流・体験の機会を創出する。

○平成29年度実績

- 森林・水資源等を活かした相互交流会の開催
- 福島県水環境活動交流会 16団体 参加者45名 (H28実績：16団体 参加者42名)
- 水を育む森林環境学習発表会 参加者51名 (H28実績：参加者58名)
- ステップアップ講座 参加者24名 (H28実績：参加者32名)
- 夏井小学校交流行事 参加者35名
- 夏井川で遊ぶ、学ぶ、体験ツアー 参加者24名
- 流域水循環に関する協議の場の開催 計5回開催 (H28実績：計10回開催)



上下交流会の様子



福島県水循環協議会の様子

事業成果

森林・水資源等を生かした相互交流会を開催し、平成29年度の交流行事参加者は179人となった。引き続き相互交流・体験の機会の創出に努め、健全な水環境を推進するため、森林・水環境教育等の実践につなげていく。

また、流域水循環に関する協議の場とし、福島県水循環協議会及び福島県地方流域協議会を平成29年度に設立した。今後、本協議会で水に関わる様々な課題解決を行う。

○累計実績（平成28～29年度）

森林・水資源等を活かした相互交流会の開催		
福島県水環境活動交流会	32団体	参加者87名
全国河川愛護団体交流会	21団体	参加者57名
水を育む森林環境学習発表会		参加者109名
ステップアップ講座		参加者56名
交流行事、体験ツアー	3回	参加者91名
流域水循環に関する協議の場の開催		計15回開催

(19) エコ七夕事業

【環境共生課】

事業概要

未就学児の地球環境を想うやさしい心を育成するために、幼稚園・保育園・こども園でエコに関する願い事をする七夕イベントを実施する。

○平成29年度実績

エコ七夕実施園数	94園	参加者4,620名	(H28実績：76園 参加者4,857名)
実施園のうち、もりの案内人派遣園数	8園	参加者191名	(H28実績：7園 参加者246名)
実施園のうち、エコ七夕in県庁	ささやのぞみ保育園（福島市）	参加者40名	(H28実績：森合幼稚園（福島市）参加者53名)



県庁エコ七夕（ささやのぞみ保育園）



もりの案内人派遣

事業成果

幼稚園・保育園・こども園で七夕イベントを実施し、小学校入学前の子どもたちの地球環境を想うやさしい心の育成を図った。

○累計実績（平成28～29年度）

エコ七夕実施園数	170園	参加者9,477名
実施園のうち、もりの案内人派遣園数	15園	参加者 437名
実施園のうち、エコ七夕in県庁実施園数	2園	参加者 93名

5 森林文化の継承

(20) ふくしまの森林文化継承事業

【森林計画課・林業振興課】

事業概要

先人たちが育んできた森林と人との絆（つながり）である森林文化や木の文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、県民への普及PRを行う。

○平成29年度実績

・ふくしまの森林文化継承事業 【森林計画課】

県内森林文化を記録した映像の作成し県HP及びYoutubeで公開するとともに、森林文化公開体験イベントを開催した。

記録映像2本（桶作り、ふくしまの森の風景）（H28実績：3本）

体験イベントの開催（フォレストパークあだたら）

「杉を知る」体験展示 来場者9,436名

「杉を知る」体験プログラム 参加者 188名

「杉を活用する」体験プログラム 参加者 45名

・木（森）に由来する伝統文化継承事業 【林業振興課】

木（森）に由来する伝統文化継承事業体験イベント

伝統文化を継承するための研修、体験イベントを開催した。

栃の実に由来するイベント 2回（下郷町） 参加者各10名

栃餅つき体験、試食会イベント（郡山市） 参加者160名

桐の栽培育成研修 4回（三島町、西会津町） 参加者各5名

漆の搔き子（漆搔き職人）育成研修 5回（喜多方市、茨城県常陸大宮市）各5名

野生きのこ料理教室（郡山市） 参加者15名

野生きのこ試食会（調理見学会）（郡山市）2回 参加者延べ140名

会津産桐材による高断熱・高気密サッシの開発



漆の搔き子育成研修



桐の栽培育成研修

○累計実績

・ふくしまの森林文化継承事業（平成24～29年度）

森林文化公開体験イベント開催 H24～H27, H29 10回 参加者10,259名

森林文化調査カード公開 H24～H28 125件（H18からの累計実績175件）

森林文化記録映像公開 H24～H29 15テーマ16本

（H18からの累計実績18テーマ19本）

・木（森）に由来する伝統文化継承事業（平成25～29年度）

伝承文化継承イベント開催 H25～H29 11回 参加者513名

伝承文化継承研修会 H28～H29 17回 参加者 20名

野生きのこ料理教室・試食会 H28～H29 4回 参加者165名

製品開発 H28～H29 2件

事業成果

これまでに実施した本県の森林文化の調査結果を175件の調査カードにとりまとめ、「森の暮らし」をテーマに18章の森林文化記録映像を作成し、ホームページでの公開や森林文化体験イベントの実施等で、ふくしまの森林文化を広く発信した。

また、人材育成研修や各種イベント等を通じて、福島県産の特用林産物に由来する伝統文化への理解や、知識・技術の習得に寄与するとともに、福島県産の特用林産物を利用した、PR効果や機能性等に優れた新たな製品を開発した。

6 森林環境の調査研究

(21) 森林環境等調査発信事業

【森林計画課】

事業概要

県民に身近な森林の現況や、木造施設などにおける木材の良さを調査し、その結果を、県民に向け周知することで、県民に対し森林や木材とふれあう動機付けを行うとともに、森林を守り育てる意識の醸成を図る。

○平成29年度実績

- ・巨樹巨木の調査及び木造施設における木のよさ調査を実施した。また、調査結果を取りまとめたPRチラシを作成し、中通り地区の小学校に配布した。
巨樹巨木調査 101本（会津地区、浜通り地区）（H28実績：中通り地区121本）
木のよさ調査 小学校4校（H28実績：小学校2校）
PRチラシの作成・配布（木のよさPRチラシ10,000部、巨木PRチラシ20,000部）



巨木調査（会津若松市）



木のよさ調査

○累計実績（平成28～29年度）

- ・巨樹巨木調査 222本 H28～H29
- ・木のよさ調査 小学校延べ6校
- ・PRチラシの作成・配布（木のよさPRチラシ25,000部、巨木PRチラシ35,000部）

事業成果

森林環境交付金事業で整備した公共木造施設における木のよさ調査や、巨樹・巨木の調査の結果をとりまとめたPRチラシを作成し、小学校における森林環境学習活動等に活用することで、森林・林業に対する子ども達の理解を深め森林を守り育てる意識の醸成が図られた。

7 森林環境基金の運営

(22) 森林環境基金運営事業

【森林計画課】

事業概要

森林環境基金事業の適正な執行と透明性を確保するために「森林の未来を^{もり}考える懇談会」を運営する。

○平成29年度実績

- ・森林^{もり}の未来を^{もり}考える懇談会運営事業
森林の未来を^{もり}考える懇談会を3回開催した。
第1回（平成29年8月10日）
 - ・平成28年度事業の実績について
 - ・平成29年度事業の実施について第2回（平成29年9月4日～5日）
 - ・県北・相双管内における森林環境基金事業実施箇所の現地調査
 - ・意見交換会第3回（平成30年3月22日）
 - ・平成29年度森林環境基金事業の実績見込について
 - ・平成30年度森林環境基金事業の概要について

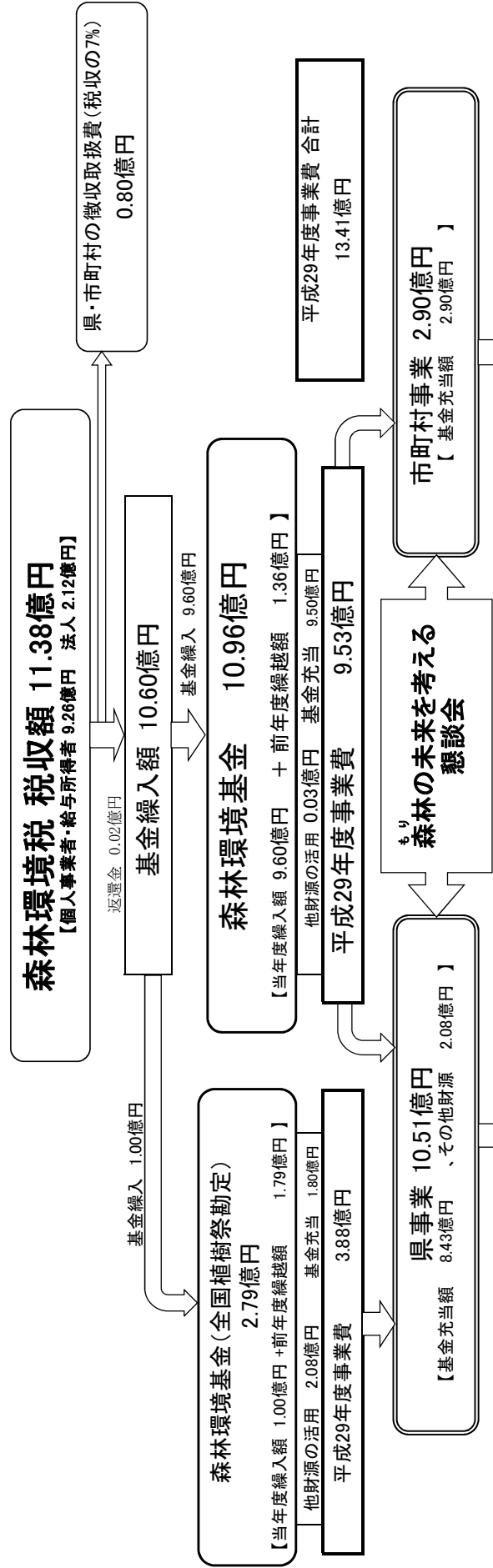
○累計実績

- ・森林の未来を考える懇談会運営事業（平成18～29年度）
懇談会開催 H18～H29 43回 委員10名
- ・森林環境税関連施策検討事業（平成24～25年度）
森林環境基金事業成果発表会開催 H24～H29 4回 発表題数32題
- ・森林環境基金事業に対する県民の声を聴く事業（H26, 27）
森林づくりタウンミーティング 7回 参加者合計364名
森林環境税に関する県民アンケート H26.10.25-12.25 回答数10,900件
市町村・関係団体アンケート 1回
県民意見公募 1回

事業成果

これまで委員10名で構成する「森林の未来を考える懇談会」を43回開催し、取組に対する意見や評価等について検討していただくことで、県民の参画と透明性を確保することができた。

平成29年度森林環境基金事業の枠組(実績)



事業	事業	事業
1 森林環境の適正な保全 606,205千円 436,215千円 <ul style="list-style-type: none"> 水源かん養など機能の低下が懸念される森林整備等 森林の若返りや広葉樹林化のための再造林の支援 里山林の環境整備 施業集約化を促進するための支援 森林GISの整備による森林情報の高度化、共有化 	2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり 169,990千円 <ul style="list-style-type: none"> 間伐材の搬出・運搬支援 森林整備を促進するための路網整備 木質バイオマス利用促進 CO2削減と風評払拭に向けた県産材の普及PR 公共施設の木質化と木育活動の推進 木材利活用拡大に向けた新たな可能性への取組 地域に適した技術の継承による森林資源の活用 	3 森林環境を保全するための事業 101,338千円 3 森林環境交付金事業 (2) 地域提案重点枠 101,338千円 <ul style="list-style-type: none"> 市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源 (事業の対象分野) ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他
4 県民参画の推進 428,678千円 <ul style="list-style-type: none"> 森林環境学習に必要なアドバイザーの整備 指導者の育成や森林ボランティアセンターの運営等 森林ボランティアや企業による森林づくり活動の支援 県立学校における森林環境学習等 幼少期や青年期に拡大した森林環境学習等 流域の交流等様々な形で森林の理解を深める取組 森林環境情報の発信や森林づくり活動の拡大 全国植樹祭の準備 	5 ふくしまの森林文化の継承 11,014千円 <ul style="list-style-type: none"> 県内の森林文化の継承に向けた記録と体験の取組 森林文化を活用した地域再生 	3 森林環境を醸成するための事業 188,807千円 3 森林環境交付金事業 (1) 森林環境基本枠 188,807千円 <ul style="list-style-type: none"> 全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源 (事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進
6 森林環境の調査 4,374千円 <ul style="list-style-type: none"> 身近な森林状況等の把握と情報発信 	7 森林環境基金の運営 901千円 <ul style="list-style-type: none"> 森林の未来を考える懇談会の開催 	3 森林環境を醸成するための事業 188,807千円 3 森林環境交付金事業 (1) 森林環境基本枠 188,807千円 <ul style="list-style-type: none"> 全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源 (事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進